



55

だんぐがわ 壇具川

山口県下関市長府侍町

下関市は、本州の最西端に位置し、瀬戸内海、関門海峡、響灘と三方を海に囲まれた街であり、山陽路、山陰路の結節点にあたる。また、古くから西日本の政治、経済、交通、文化の交流点として栄えた街である。〔文化・観光〕考古館・美術館、功山寺・住吉神社、長府城下町、東行庵、天下の奇祭・数方庭祭（8月7～13日）、馬関まつり（8月）

現在はホタル護岸を設置し、ホタルの幼虫を放すほか、菖蒲を植栽している。付近には文化財、水族館、美術館、博物館が並び、下関下の観光コースのルートとなっている。川岸は春は桜、初夏ともなれば柳並木にホタルが飛び交い、散策を楽しむ人にやすらぎとうるおいを与える。

下関市の旧長府城下町を左右にみて周防灘に注ぐ壇具川は、神功皇后が豊浦宮で祭事を行ったとき、祭壇に用いた道具をこの川に流したという故事に名前を由来するといわれている。

江戸時代には米倉が建ち並び、長府藩内の年貢米を積んだ舟が行き来する川でもあった。

